京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●我が信條

◎處世論　南外隱士

明日といふ事を考へるのは或る意味に於ては無益である、此の事は今日中にして置きたきも都合が惡いから明日に延すなどいふ事は極めて戒しむべき事である西洋の諺に今日一日は明日の二倍に當るといふ事がある、之れは面白い諺である今日も二十四時間明日も二十四時間、けれども之れを同じ長さと思ふならば誤て居る、人間は何時如何なる時りの生活をたゝれても悶然する處ない樣に心がけて置きたいものである、今死んでは死にきれぬと云ふ樣な生活は遂げたく無いものである。

豐臣秀吉が日吉丸といふた時分或る老婆の持て居る金を無理に奪ひ今に已れが天下を取つたならば返すと云ふて去つた其の後天下を取り右の金を返したといふ話があるが此の如き生活は誠に危險な生活で若し志を得なかつたならば之れは片輪の生活をやつたことになる。

抑々彼の成功とか不成功とか云ふ事は人の死後百年二百年を經て見なければわかるものでは無い、到底その人一生一代の内に事の成敗を論ずることは出來得可きでない、寧ろ人は始めより敢て成功の人たるを期せず、前に述べたる如く良心の命ずる處に從つて唯々心よき生活を續け將來を憂へず空想に流れず足元の確かなる歩調をとつて一歩一歩進んで行くのが最良の處世法である又さういふ處世法をとつて居る人に歴史上の偉大なる成功が歸着するのである、虛榮心に驅られ世の人の所謂成功を目途として行動する樣な人には到底偉大なる成功は出來ない楠正成は今湊川に祭られ二重橋の外に仰がれて居るが彼れが在世の當時には夢想だもしなかつた事であらう、彼れは當時新田足利等の諸氏と並んで寧ろ一番背後に在つたかも知れぬ、而も彼れは之の人に頓着なく自分の信ずる處に從つて良心の命ずる儘に行動し終に力竭きて湊川に討死したのである、而して明治の今日無二の忠臣として神に祭られて居るのである、又大石良雄にしても彼れは主人の仇たる上野介を討つといふ事が目的で、其れが爲めに種々の困難と戰ひ終に目的を遂行し心置きなく切腹して果てたのである、此の事が後世武士道に非常なる影響を及ぼし明治の今日日清日露の戰爭にも非常な効果を持ち得たといふことは誠に彼れが意外に思ふ事であらう之れに因りて見るも徒らに功名富貴に憧がるゝは誠に淺薄なる考へで、何等眞の成功を期圖するものではない寧ろ着實に一歩一歩伏仰天地に恥ぢざる生活を續くるのが最も偉大なる成功を伴ふもので又最良の處世策であると思ふ。

以上良心の命ずる處に從つて行くといふ事自ら信頼し自ら助けて行くといふ事過去を踏らず未來を憂へず現在を一歩一歩に着實に進めて行くといふ此の三つが處世上に最も穩健なる方針であらうと自分は考へて居る。（完）

新刊紹介

▲現代（八月號）　東都幾多の政治文學雜誌中現代と中央公論とは理想的雜誌として多くの讀者を有す本號に於ける讀物は眞氏の國防と外交黑頭巾氏の堀田正養の月旦小山田氏の小說新稿は最も面白し歐米諸國の夏休と避暑は趣味津々たり（發行所神田小川町現代社）

▲仁川日本人商業會議所報告　は同所月報の臨時增刊にして四十一年に於ける仁川港外國貿易及輸出入重要品の商況及物價勞銀等を詳細に記述したるもの韓國貿易に從事するものには必讀の書也



第廿五席　桃川燕玉演

中山公暫く御考へなすつて　中「宜しい／＼斯う致さう、位は私に遣はす譯にいかぬから名を遣はさう　權「名を……名前は權六で澤山でございます　中「權六では誠に名前が粹くない、立派な名を麿が遣はす、どうだ兵部少輔、宜いであらう　權「なんでございます、兵部少輔、へゝ植木屋兵部少輔權六ですかナ、成程こいつは豪氣だな、兵部少輔有難うございます、それぢや今日から私は戴きます　中「宜しく／＼　權「だが口でばかり言つたんぢやア極りがないから、どうか御書きなすつて下さい　中「宜しく／＼書いて取らせる」と中山殿假名で書いて下すつたひようぶしやうといふ、權六喜んで立歸りまするると、直ぐ懇意の紺屋へ行つて頼み込んで袢天に染め〇、襟の所に兵部少輔、脊中へ權六の權の字を大きく一字染めて、サア出來上る、こいつを着て威張つて歩く、仲間の植木屋さんが驚いた〇「權六……　權「何だ　〇「何處で其袢天を貰つて來た　權「貰つたんぢやない巳が染めたのだ　〇「だつて兵部少輔、何だい其襟印は　權「俺の名前だ〇「馬鹿ア言へ手前植木屋の權六だ　權「馬鹿な事を言つてらア、植木屋の權六はそりやア普通の名よ、今度中山樣から兵部少輔と云ふ御名を戴いた　〇「へー中山樣から……大層な名を汝貰つたな　權「是から馬鹿にするな、植木屋兵部少輔平權六と云ふのだ〇「箆棒め平も源もあるもんかやない、だが豪的な名を戴いたな、何うも良い屋敷へ出入りをすると違ふナ、どうも權六豪的だ」サア仲間の人が大層評判をして居ると、是が役人の耳に入つた、早速權六を御呼出しになつて　役「植木屋職人が兵部少輔なぞと袢天の襟地に染めて着致すと云ふは甚だ不都合どう云ふ次第で兵部少輔……　權「へイ是は私の出入先の御公卿樣から戴いた　役「其方の出入りは何方だ　權「中山大納言樣……大納言樣から戴きましたので、斯うやつて袢天の標印に致したんでございます」　中山公の御名前があるから、そこで其日は權六を御下げになつて、直ぐ所司代へ申上げ所司代から中山公へ御問合せになつた「出入りの植木屋職人權六なる者へ、兵部少輔と云ふ名を遣はされたと云ふが是はどう云ふ次第」と中山殿御笑ひなすつて　中「左樣、是は永年當家へ出入を致す植木屋であるが、どうも生れ付の無性者、何時參つても捗々しく仕事を致さぬ、何時も／＼怠惰々々致して居る、故に彼に書いて遣した、ひやうぶしやう、兵部少輔ではない、ひやうぶしやうと書いて遣した、それを彼奴が心得違ひをして兵部少輔と襟地に染たものと見ゆる、麿が書て遣したのは假名でひやうぶしやうと書て遣した成程さう言はれて見れば喧嘩にもなりませぬから所司代も笑つて御濟せなすつた。權六を御呼出しになつて一以來斯樣な標池を染めた袢天を着てはならぬから」と言つて御叱りなすつたと云ふ。其位でございますから、誠に中山樣も世間は交際が廣い、誰彼と差別はございませぬ、當時天下に有名の勤王家は多く中山殿の御門へ入らぬ者はなかつた。と茲に奥州會津の浪人で池西太宮と云ふ異影流の劍術の達人、中山殿の御屋敷に永らく御厄介になつて居りました、大納言殿も太宮々々と云つて頻に御寵愛をなされて居る。と此中山樣の御愛妾淺野と云ふ女がある、何時か太宮淺野が情を通じました、大納言殿は御存知があつたかなかつたか、頓と知らぬ顔をなされて居らつしやると、御家の用人　△「申上げます　中「何だ　△「どうも不埒至極な奴は池西太宮、右樣な者を館へ御差置になつては相成りませぬ　中「如何致した　△「御愛妾淺野殿と密通を致しました、甚だ家の不取締の儀迄に是は御成敗遊ばさなければ相成りませぬ」眞赤になつて申上げた、其男の顔をしげ／＼と御覧になつた愛親卿　中「これ／＼其方は予が家に永年勤めて居るが今年何歳ぢや　△「六十一歳でございまする　中「六十一歳ぢや、然らば還暦りと云ふ年であらう　△「左樣でございまする　中「已れが歳を考へたら端ない事を麿が前で喋々と申すな　△「へイ　中「淺野は予が妻ではない、彼は召使だ、太宮は予が寵愛致して居る者だ、若き女子若き男の事だから、右樣な心得違ひなきにしもあらず、左樣な事があつたら麿が耳に入れず、何とか其方が宜きに計らひ方がありさうなもの、開き直つて麿が前に顔を赤め疊を叩いて異見がましく、以の外の儀である、今日の儀は宥し置くが以來ありも致すまいが萬事に心を付け、計らひ方を考へんければ相成らんぞ、其方巳れが歳を數へて考へて見ろ△「ヘイ」忠義振つて申上げた御家來大きにだれたのだれないの、散々中山樣から御叱言を聽いた、扨耳に入つて見れば其儘に捨置く譯にも相成らぬ　中「太宮淺野を此へ呼べ△「ハツ」と言つて兩人を御呼出しになつた。



京城新報

商業會議所論

聞く所に依れば京城日本人商業會議所は存廢問題起らむ其維持法に關し會頭を始めとして目下大に憂慮中也と云ふ、韓國の首都に於ける堂々たる我商業會議所が今の時に於て維持法の如き消極的問題に腐心するを聞くに及では余輩は聊か奇異の感なくんばあらず、而して我京城商業會議所のみならず仁川釜山元山其他の各商業會議所も其創立當時より今日に至る迄移住民の發展貿易の進捗に盡したる所は決して少なからず、然るに此有用なる機關に對して移住民が年一年と設立維持を厭ふの狀を呈し來れるは何故ぞや是れ余輩の甚だ怪訝に堪へざる所なり

翻つて考ふに在韓商業會議所の創設せられたる當時に於ては各居留地に民團制度なるものは布かず、謂ふ所の居留民役所なるものはあれども、總て居留民に關する重大なる利害問題の解決、貿易上の調査報告等は寧ろ商業會議所の手によりて行はれたる也、然るに年の進むに從ひ一方に於ては民團制度實施せられ居留民に關する萬般の事務を以て之を民團役所に移し、從て商業會議所に支拂ひたる課金も多くは民團役所に納むることゝなれり、加之民團役所ありて不完全ながらも理事廳及居留民の發展と共に居留民の發展及貿易上に盡くす所あり、且つ調査報告等の事務は韓國政府にては度支部、農商工部に於て殆ど完全と思はるゝ迄に之を世に公にす、日本人側にては第一銀行が本店支店を通じて此等の調査に從事し其報告を公にし、此等の事情により在韓商業會議所は時に我京城商業會議所の如き其創設當時目的としたる事務の大部分は自然失ふに至り、併し是れ商業會議所が自ら其價値を減じたるに非ずして自然世人の重要視せざるに至りし也、其結果として課金納付の大に減じ到れるものならんか、然らば今後は商業會議所を如何にせば可なるべきか、余輩の考を以てすれば從來活動し來れる方面以外に向て新活動を開始するを要す、所謂秩序整理に應じ民團役所其他官衙の手を以てなし能はざる事業を成すこと即ち之なり、之を爲すには先以て商業會議所其者の組織を時に應じ所の代表的のものとなすを要す、今日の如く曩に言へば現在の商業會議所は實際數百以て數へたる少數なる居留民時代に創立せられたるものにして其定款の如きも決して今の時代に適應したるものに非ざる也、庶幾くは商業會議所關係の諸君は徒に課金を集ることにのみ配慮して、其本体を改造することに意を致さず世人の商業會議所に對する思惑に想到せられざるは決して策の得たるものに非ざる也。

●甲山銅鑛と韓人廢坑

コールブランの經營に係る甲山の銅鑛は其

人の同業者は會社に壓倒せられて殆んど廢坑の悲境を見んとするに至れり

し去る九日既に入札濟みとなれりと

東京電報

▲借款流用の決定 荒井度支部次官は往訪の記者に語りて曰く司法部委任の爲從來要したる司法費所要額約二百萬圓は將來日本政府之を負擔する事となりたる結果借款の用途に變更を生したるに依て大藏省と交渉の上該費額は道路築造費に振替へ使用する事に略々決定すべし(十四日午前着)

▲間島は遂に放棄か 政府より重大なる提議を清國 間島領土權は放棄 昨日開會の臨時閣議の内容を漏れ聞に清國より提議を申込み來れるものにて其主要點は安奉線と間島問題との交換にあるものゝ如し結果間島領土權は放棄するに至らん(同上)

▲天日製鹽官營計畫 韓國政府は天日製鹽官營を計畫しつゝありと荒井度支部次官は語れり(同上)

▲清國人夫の應募 安奉線工事に使用する支那人夫は多數の應募者ありて工事は支障なく進行しつゝあり

▲知事の工事歡迎 本溪湖の支那知事は鐵道改築を歡迎し種々の便宜を與へ居れり(同上)

▲韓太子の新冠發 韓太子には本月新冠を發せられ[illegible]歸へられたり(同上)

▲大藏省劵の利子 二十五日借替へをなしたる大藏省劵一千万圓は二厘を下げ一錢一厘に決定せり(同上)

雜報

●間島懸案の今後(武力を以て保護す)

安奉線改築の强行を見て早くも間島懸案に對する解決如何を想像するものもあれども間島問題は單純なる清韓兩國の境界問題なれば我政府は安奉懸案の通牒に明言せし如く飽迄交渉に依り其結末を着く可き筈なるが万一清兵の行動にして間島在住者の生命財産を危害するが如き虞れあらば止む無く其解決に武力を以て韓國の境域を保護するに至るべし

●滿韓鐵道の合併案(合併後の形式に付)

韓國鐵道を滿鐵會社に合併することに關する政府の意嚮は未だ不明なれども安奉線改築工の上急々合併する場合に於て其形式を如何にすべきかに就き某法律家の説に依れば此問題は至て簡單にして要するに滿鐵會社は資本金額を增加し一面政府が京釜鐵道會社に交附したる買收價格並に其後支出したる建設費額を其儘政府の出資となせば足れるものにして滿鐵會社は同時に社債募集制限額を擴大せられて新に社債を運用して韓國未成線の建設に從事すべく又現に統監府鐵道廳職員は其際に滿鐵會社へ引繼がるべし而して合併後會社が如何なる機關を置きて之を管理すべきか例へば京城へ支社の如きものを設置すべきや或は又中央集權の現制の儘に置くべきや等の問題は一に會社自身の意嚮に依りて定る可ものなり

●清國大官の交迭(安奉線問題の失態)

安奉線問題に就き帝國政府が遂に自由行動を執るの已むを得ざるに至らしめたるは全く清國外交當局者が自己の位地の危からん事を恐れて常に帝國政府の態度を攝政王に上奏するの手續をなさゞりしにあれば當面の責任者として外務部尙書梁敦彥東三省總督錫良其他一二大官の交迭は免れざる可と

●警察制度改定の内容

先年日韓の警察を合同し理事官の指揮監督の下に韓國傭聘日本警察官をして在韓國日本人に關する警察事務を取扱はしめ之れと同時に統監府官制中警察官に關する官制を刪除したるが今次の司法權委任に伴ふ結果警察制度を改定すべき必要を認め過般來屢次參與官會議を開き之が改定に關し種々協議をなしたる由は既報の如くなるが今回制度改定の内容を聞くに統監府官制中に再び警察官に關する官制を設け有資格者は之を陞任すると同時に無資格者の淘汰を行ふ筈なりと統監府某高等官は語れり

●國税徴收額と其種別

本年五月末日現計なる韓國隆熙二年度所屬の内國税内譯は左の如し

種別	調定額	收入額
地税	八、二九六、七六二、六六四	六、七〇〇、四〇四、八九一
戸税	五九三、七二九、〇六九	四五一、六七七、八九九
水産税	一四、六三三、四一〇	九、四八六、五七五
鹽税	一三、二一四、九二三	一三、〇〇一、二六三
船税	一七、〇三一、六〇〇	九、六二一、三六二
鑛税	八六、五六八、三二〇	四九、六七二、二一〇
庖肆税	二六、七五〇、七六〇	二三、四五一、一三〇
典當税	五三五、五九〇	五一四、五九〇
既往年度未納收入	一、五五九、三二四、四四七	一四三、一七八、三〇五
人參税	一、三三八、四五〇	九一五、一七〇
雜税	一八、八〇五、一七〇	一七、六三九、四一〇

●大韓山林協會役員會

大韓山林協會にては去る十三日會頭李載克副會頭李夏榮以下二十四名出席臨時役員會を開き左の諸件を議定したり

一事務所移轉の件
一會報發刊の件
一會務擴張の爲め各地方支部勸誘員派出の件
一苗圃設定に關する件

因に今回移轉すべき家屋は中部大廟洞五統元帝室有財產整理局の建物にして之に修理を加へたるものなりと

●一銀紙幣と勅令廢止

我が政府が先年公布したる外國に於て銀行業に從事する者云々の法律に依り發布されたる勅令は第一銀行が韓國に於て兌換劵の發行を認定すると同時に之れが所持人は優先權を有すべしとの規定なりしが今般其權義一切を韓國銀行に引繼ぎたると同時に尙ほ普通商業銀行として營業を存續することなれば右勅令は韓銀の設立と共に廢止せらるゝ筈なりと云ふ

●來年度の教育補助費

統監府は從來在韓邦人小學校に對し教育補助費として毎年四萬圓の補助金を交付し居れるが邦人の發展に連れ小學校の數も漸次增加し到底從來の補助額にては不足を告ぐるを以て來年度よりは五萬圓に增額する方針にて統監府豫算案に計上したりと云ふ

●郡守裁判は當然廢止

司法權委任の結果として從來の郡守裁判は當然廢止せらるゝ筈なるが之れと同時に區裁判所の數は少なくも韓國政府の定めたる百十二ヶ所を開設せざるべからず從つて數郡を一區裁判所の管轄に置くことなれば多少の不便ありと雖經費の關係と家屋の設備等にて已むを得ざることなるべしと

●各銀行會社上半期概況(十)

韓國殖産株式會社 專務取締役 廣瀨長康

資本金	三十萬圓	拂込濟
積立金	二千九十五圓	
繰越金	八千九百廿二圓	

利益配當は未だなさず

●營業狀態● 此會社の事業は農事及び鑛山にして直ちに利益を擧ぐる能はざるは當然也、殊に農業に至りては最も耐久を要するを以て創立以來徐々其計畫をなし先づ鳥致院附近に約四百丁歩の土地を購入し開墾をなしつゝあり現在に於ては毎日百人餘の韓人夫を使役し居れり既墾地約百町歩に達す其幾分を菓樹園とし林檎梨子を栽培するの計畫をなす亦平安北道に鑛山、慶尙北道に黑鉛の採掘をなしつゝあり。最初に於ては農業地鑛山の恰當なるもの見當らざりしを以て龍山に二萬坪餘の土地を購入し宅地として經營す之より揚る所の利益の如きは全体の經營費の中に充てつゝあり此會社の創立は四十年の四月にして株式會社なりと雖も株主は十有餘名の同志にて永久に確實の利益を擧るを專らとせるを以て現在擧げつゝある利益の如きも之を株主に配當せずして經營費に使用し居る也。現在に於ては利益を意の如く擧げ得ざるも其前途は頗る有望なり其經營の年と共に進歩するに於ては韓國の開發に資する所あるのみならず充分なる利益も亦附隨し來るべし

●韓銀覺書は明日發表

韓國銀行設立に關する日韓間の覺書は十六日發表さるべしと

●法政大學の發展

梅博士を總理に富井博士を教頭に戴ける東京法政大學は本年を以て恰も其創立滿三十年に相當したるに依り去る四月盛大なる紀念の式典を擧げ此機會に於て一大發展を遂し學課制度を改正し從來擔當の碩學鴻儒に加ふるに新歸朝の博士學士を招致し同時に夜間授業を實行すと詳細は法政大學一覽に在りと云へば必要の向きは東京麴町區富士見町同大學事務所宛申込まるべし

●警察雜誌の擴張

韓國に於ける警察雜誌としては唯一の警察月報あるのみにして其内容は日本に於ける警察協會雜誌の如く完備し居らざる傾きあるに依り當局者は警察月報に改善を加へ日本の警察協會雜誌の如く擴張する方針なる由

●黄潤黑鉛鑛有望

慶尙北道黄潤郡内に於ける釜山小宮萬次郎氏の經營にかゝる黑鉛鑛は昨年の採掘高二千餘万斤に達し事業追々發展するを以て近く黄潤驛迄輕便軌道を敷設の都合なるが販路は獨逸に輸出しつゝあり前途頗る有望なり

●七月中三銀行の金融(附韓國五銀行金融)

第一、第十八、第百三十の三銀行を通する七月中の金融狀態は左の如し

(貸金の部)

定期貸金	百〇六萬千二百〇八圓
當座	四十九万四千三百廿九圓
手形割引	百廿五萬八千四百卅五圓
計	二百八十一万三千九百七十二圓

(預金の部)

定期預金	三百廿二萬三千七百卅七圓
當座	百四十一萬四千八百七十七圓
小口當座	百〇七萬二千四百四十七圓
公金	六十八萬千七百四十圓
計	八百十二万八千三百八十三圓

(爲替受入の部)

送金取組	三百二十二萬八千百七十四圓
貸金取立	五十八萬千七百五十八圓
荷爲替取立	三萬二千九百〇三圓
計	三百八十四萬二千八百卅五圓

(送金取立の部)

爲替振出	百九十五萬二千九百五十七圓
荷爲替取立	六千七百四十五圓
貸金取立	二十五萬三千二百廿一圓
計	二百廿一萬二千九百廿三圓

韓國五銀行の分は左の如し

貸金	百五十九萬千〇八十五圓
預金	百四十萬三千四百廿八圓
爲替受入	二萬八千八百九十二圓
同拂出	十四万七千九百六十八圓

●安奉線改築と企業團

安奉線の改築は本邦の經營に係る滿洲企業團に惡影響を及ぼすべしと云ふものあるも元來該企業團の行動に對しては清國人と雖も當地實業の發展上利益あるものと認め居れば若しも改築工事に對して清國政府は種々陰險なる手段を取るに至ることありとするも右企業團には何等の影響を及ぼすが如きこと萬々なかるべしと某消息通は語れり

●平壤水道工事の進捗

平壤水道工事は過日の出水にて一時中止せしも其後更に着手し今や鐵管は第五區の内第四區まで全部布設を終了し剩すところ只第一區のみなるも之とて幹線のみなれば近々布設終了すべく尙最も急速を要する機關室のポンプは全部五臺何れも到着し殆ど其の据付けを了し蒸氣機關の一部も既に到着したれば九月末か十月初旬その全部到着と共に之が据付に取掛るべく而して其他の橋梁及び堰堤工事も目下從事中にして本年末には一齊に終了すべしといへば給水を爲し得るは來年早々なるべしと云へり

●保税倉庫と貨物引取

保税倉庫にては預托以外の貨物に對しては四十八時以内に引取らしむべき規定なるも引取人の便宜と事情とを酌み大抵は四五日を默認し居れども貨物輻輳の際には勢ひ入庫の手續を履まざるを得ず之が爲め意外の紛議を生ずる事あるも這は貨物引取人の誤解より來るものにして取扱者に於ても迷惑少なからずと

●佐々木代議士歡迎會

岐阜縣人の主催に係る在京中の佐々木代議士歡迎會は一昨日午後四時より京城ホテルに開催せらる來會者二十四名にして山口精氏挨拶を述べ佐々木氏是に答へ後井上東拓理事及び藤田、安藤三氏の韓國經營に關する席上演說ありて和氣藹々たる内に午後十時散會したり

●釜山築港計畫に就て

釜山築港の設計は頗る急を要する由にて度支部建築所の築港專門技師たる坂出氏は目下東京に趣き同築港に就て設計を擬らしつゝあり又釜山建築所出張所よりも同氏の助手として此程技手一名東上したりと

●明石軍參謀長間島行

南韓視察中の軍參謀長明石少將は突然今十四日午後釜山出航の琴平丸に乘じ佐野砲兵聯隊長も共に北韓を經て間島に向はるべき旨釜山より電報ありたり

●法權施行の豫算(再び)

司法權施行に關する豫算は最初二百五十萬圓の豫定なりしも別項記載の如く郡守裁判廢止の結果區裁判所の增加等に少なくも三百万圓を要すべしと云ふ

●間島へ我巡査の急派

間島地方の騷擾は支那官憲の暴慢益々甚しきに依るを以て其筋にては警部以下巡査三十名を急派したりと云ふ

●納涼舟遊會延期 朝鮮日々新聞社主催の納涼舟遊會は本日仁川沖月尾島に於て擧行さるべき筈なりしも雨天の爲め來る二十一日(第三日曜日)に延期されたりと云ふ

●龍山日之出改題 龍山に於て發行せる「龍山日之出」新聞は近日「韓國日之出」と改題し日刊と爲す計畫ありと云へり

●三浦理事官招宴 三浦京城理事官は夏期講習會々員を明十六日午後七時より京城ホテルに招待して晩餐會を開く由なり

●倉富次官の東上 倉富法部次官は司法權實施準備の用件を帶び三四日中東上の筈

●兒玉書記官東上 兒玉統監府書記官は來る十七日の夜行列車にて東上する筈也と

●生田書記官歸任 農商工部書記官生田清三郎氏は歸朝中の處一兩日中歸任すべし

●本日の說教

▲日本基督敎會 旭町四丁目の同會に於ては午前八時より日曜學校同十時より禮拜說敎(日用の糧)午後八時より傳道說敎(一身の光は眼なり)以上石原牧師、來聽隨意の事

▲京城基督敎會 日の出町の同敎會にては午前九時日曜學校開始同十時禮拜說敎(崇高なる音信)午後八時傳道說敎(人生問題の解決)兩席共米澤牧師何れも來聽隨意たり

▲メソヂスト敎 旭町二丁目名古屋城内の同敎會にては朝九時聖書研究同十時禮拜說敎ドラモンド博士の(世界の最大物)を讀む木原牧師、夕八時感話並に說敎あり

近事片々

▲淸國 兵間島に入る抔の說は頻にあるも實際は至極平穩也との事也事實ならば可笑
▲暗愚 なる地方官憲には間々北京政府の意を誤解し排日の擧動を爲す者あるは事實
▲間島 に於ける淸國兵の中には或は心得違の事を爲す者不尠爲に在留邦人は迷惑す
▲要之 問題の解決せざる爲に兩國人間に誤解起る故に速に是を解決することが肝要
▲一進 會に顧問として杉山茂丸を聘せんとして臨時總會を開くと是同會振興の策か
▲杉山 茂丸が果して應ずるや否は知らざるも所謂ホラ丸顧問として適任なるべきか
▲說 には宋秉畯近々歸國して一進會の振興策を講ずると果して事實なりや疑はし
▲韓人 間には宋氏歸朝し内閣を組織すべし杯途轍もなき說を爲すものあり世は樣々
▲李根 澤金允植を起して内閣を組織せしめんと運動中なりとの說もあり是亦た流說
▲本人 共には或は斯る考を持ち居るかも知れぬが今日の場合斯る陰謀は物にならぬ
▲明治 町のカゾリック敎會にて國民敎育の爲に大學校設置の企圖ありと事實なりや
▲韓國 に於てはカゾリックは割合に成功し居る併し大學校設置は聊か考物ならんか
▲現在 の韓國には大學程度の敎育は尙早し寧ろ敎會を增し福音を宣傳するを可とす
▲模範 施療院を淸州金州咸興の三ケ所に設置するとの事是は甚だ可し速に擧行せよ
▲施療 院を設置すれば郡衙を置くよりも地方人は喜び異に此擧は乃ち善政の一也
▲平安 道地方の水害は思の外に悲酸なるが如し是を見ても河水の修築は尤も急務也
▲家屋 流失田畑の荒廢年々の雨期に於て夥し其損害高は意想外等閑に付す可からず
▲米國 より金塊數千万弗日本に入ると紐育電報にあり是れ輸入超過の結果なりや否
▲伊太 利飛行機ベルテル二大尉は三名の乘客と共に飛行艇にアルプスを横斷す
▲各國 共に飛行機の發明に熱注し漸次に精巧の機現はる帝國の飛行機の試驗は如何

▲相談の相談▼（何んでも御相談に應じ升）

◎問　私は豆腐屋で有りますが今頃は豆腐も賣れず生活にも困難を感じ居ります其上今年の十月には豆腐會社が出來豆腐一丁三錢に販賣致す由到底我々如き少さな豆腐屋は此儘永く商賣は出來ませず又私は今年二十一歳ですが二歳になる女の子有り妻は一昨年死去致しました父母も大ゐに心痛致して居ります、尤も當地には親族は二三軒有りますが皆是れ迄世話に成り通し故此の上相談も出來ず大ゐに閉口致して居りますが貴社の方に何か私に適當な仕事は有りませんか如何なる勞働でも決して否とは申しません故何卒私の一家を救ふと云ふ思召しで御心配なし被下度候（豆腐屋）

◎答　現在はありませんが本紙の無料紹介欄に依りて廣く就職口をれ求めなさるより仕方はない、が併し豆腐會社が出來たからとて貴君の樣に悲觀するにも當るまい株に入るなり賣り子になるなりしても宜しくはないか、今年廿一歳の君に二つになる女の子があると云ふ然るに一昨年妻君は死んだと云ふ、其の子は誰れが生んだ子なのです、徵兵檢査は何うしたのです、何うやら眞面目ぢやないらしいな、なにせよ斯う云ふ相談には住所姓名を明記されたい（係）

◎問　私がズッと以前長い間薰陶を受けた仁川の先生は私共の學校に十六年間一日の樣に勤續されたれ方ですが先日辭されましたので土肥輻の息子さんや中上藏太郎の息子さんなどの先輩が發起されて先生の御鴻恩の幾分を報ずる爲めに紀念として金側時計を贈るから贊成せよと叮嚀な端書を頂きまして誠に嬉ばしう存じましたが其文中に金高は一圓以上として有りました山海も只ならざる御恩を受けた一人ですもの何で不贊成がありませうが誠に悲しい事には私は家が貧しい爲めれ金に制限されて居るので師恩の幾分をも報ゆる事が出來ませず殘念ですが記者樣何とか工夫はありますまいか（一〇）

◎答　發起者の量見が分らない、紀念品を金側時計と限つたのは何う云ふ意味か十六年も育英事業に從事せられて居たとすれば三百や五百の門生は有るべし各自一圓宛出金せば三百圓以上の醵金は得らる資業なるべき育英家に斯くの如き高價なる時計を贈る事は不適當なるべし發起者の量見が解せない、君は自由行動を取り玉へ末廣一對にても先生は喜んで受取らるべし、要は謝恩の意を表示すれば足のだもの（係）

●男を喰ひ殺す女

▲被害者は既に四五名　▲入身御供は友永の伜

仁川は花町二丁目元水本病院の跡に細かなる雜貨商を營める脇田れ何と云ふ年增あり年は三十を出づること五六なるも以前朝日樓で取つた杵柄はまださびやらず何所かに殘る色香に迷はされては變な目附をする男も少なからざるが妙なことには此の女に關係を付けたるものは身体は漸次と衰弱し遂に敢ねなき最後を遂ぐるとの評判にて最初關係せし江口と云ふ男を始め亡せしもの倘二三名ありとか閑話休題れ何は近來男氣なきに夏の蚊帳の廣きを喞ちては男戀ひしや好き男もがなと搜し廻る中不圖せしことより同町友永某の息子と馴れ染めたるが友永方が一寸小金のある所より何れは慾と色との兩天秤で十歲も違ふ程の男の妻となり近所の手前も憚らず巫山戯散らして居たは好いが一方友永の息子は女房の信子（元一山の娼妓）に此頃苦情が出來面白からぬ所よりれ何の元に通ふのみならず時々日進樓十郎の許に通ふよりれ何は年甲斐もなく敷島に出掛けては友永を連れ戻ること屢々あるが友永さんも食殺されねば好いがと黑門邊にて評判し合ねりとか

●姦通したのは當然だ

▲家を空たがれ主の不覺

原籍愛媛縣伊豫郡下灘村當時龍山十五間道路古道具商邊見某が內緣の妻木村マスヨと云ふは元治元年の生れにして本年は正に四十六の大年增なるが只の一夜たりとも男の肌を離れて寢ては何やら可笑しきものゝ化に襲はれて今日此の頃の明け易き夜も起きてみつ寢てみつ蚊帳の廣きを喞たれて曉の鐘ゴンと鳴るのが待ち兼ねらるると云ふ程の腎張りなれば亭主たるものにして若し一夜でも家に居ないが最後、抑も亭主たるべき者が女房に一夜たりとも不自由をさせると云ふ不心得では末が思ひ行られる、御免となも何んとも云はず其の日から又牛を馬に乘り換へると云ふ風なれば去る三十八年の末渡韓したと云ふに現の邊見某で丁度十八目今年中にはもう三人は慥かに換へてた目に掛けると涼み臺に寢そべつて云つて居たとの噂も滿更噓とは言はれぬ過在の不身持、夫れを書き立てる日になれば數限りもなきこと故此所には今の亭主邊見と內緣を結びたる動機をザッ、書き付んに以前の亭主某は大工職なるが去る七月中開城に仕事ありて出稼ぎ中同じ十五間通りの朝日野と云ふに自ら好んで淫賣を稼ぎ居たるより朝日野と邊見が家とは三軒置いての隣りの事ではあり昨年女房を失つた助平爺の邊見が鼻の下の長さうなに付け入りずる〳〵べつたりに据り込んだるに七月廿三日に至り出稼中の元の亭主が戻つて來たので殺すの斬るのと今にゴタ〳〵して居ると云ふがマスヨは自分の惡い譯ではない、亭主丈けのことを仕なかつたのが惡いのだと威張つて居るとは噓の樣で眞實なりとの投書のまゝを

●戀を取持て咬付かる

▲當の對手は手飼の犬

去る十三日當地永樂町一丁目十八番戶須田近思郎氏方居留關口親治（三〇）の飼養せる牝犬逸走せしかば百方搜索中南山町二丁目宮島某の飼犬と同家にて交尾し居るを發見したるも直に引離し連れ歸へらんは無慘なるのみならず宮島方の飼犬も毛色等も麗しければ之が種を取らば必定美事な犬兒を得べしとて交尾の終るを待ち居りしが交尾の終るや其牡犬は突如側に在りし前記親治に飛び掛かり左大腿內側に喰ひ付き負傷せしめしより關口は大に驚き其儘松岡病院に到り治療を受けたりと

●明法學士の犯罪

愛媛縣東宇和郡土井村二十五番戶八番地平民當時京城新町三丁目二十四番戶島田定助方自稱明治學士中木高一（三十）は本年七月頃島田定助と共謀して當地明治町寺尾平吉の所有文券を騙取し前記定助は當時其筋の手に捕はれしも此奴は風を喰つて姿を隱し爾來南部署の長野刑事が苦心搜査中昨日午前八時頃前記の場所へ潛伏中同刑事の爲め取押へらる

●毒蛇美人を殺す

去る七月廿五日平安南道陽德郡溫泉面上菊里陰地洞山中に於て同地農劉奉奎の妻林女（十七）が變死したりとの報に接し永野憲兵伍長は杉浦上等兵及び補助員一名を從へ現場に出張檢視したるに全く毒蛇に咬刺され即死したるものと判明し死体は夫劉に引渡さる

●狂人の鐵道往生

定州居住土木請負業辻井長次郎方同居山口縣人高野儀助（二〇）は去る八日午後三時頃北行列車進行中定州郡伊彥面附近にて線路に飛入轢死を遂げたるが同人は豫て發狂の氣味あり當日は非常に酩酊して附近を徘徊し居たるなりと

●消火栓から噴水

近來水道の故障頻々たるが又しても去る十三日午後九時三十分頃南山町二丁目松岡病院の前に設置しある水道防火栓に故障を生じ噴水甚だしく折柄附近巡視中の水道工夫及警官も來合せ協力防水に力めたれば大事に至らず事濟み

●清元延壽太夫出演

▲明十六日巴城館にて清元家元延壽太夫及千歲太夫、梅吉等は過般來入京中なりしが明十六日午後八時より巴城館に於て演藝會を開く筈なり其番組は左記の通りなるが此の內新曲天長節は例の西湖先生の新作にして延壽太夫の節付けしもの又同太夫の演ずる夕霧は貴夫人令孃達に聞しむるは如何はしからんと云ふ者も●●あれば多分取替らるべし倘ほ入場料は大人一圓五十錢令孃●一圓なりと

演藝番組

京城新曲天長節　れふく　花奴　君江　桃太郎　延壽太夫

小唄

夕霧　延壽太夫　千歲太夫

吉原すゞめ　梅吉

●間拔泥棒捕はる

一昨十三日午後二時四十分頃當地永樂町二丁目九十八番戶親衛府調馬師鈴木留八方へ一人の韓賊忍び入り洋傘一本を竊取して逃走する處を家人が發見追跡して取押へ其筋へ突出さる此奴は中部鐘洞住姜春夏（二六）と云へる奴

●敷島遊廓の檢梅

仁川敷島遊廓の檢梅は一昨日午後勵行せられたるが高砂樓の都は痔疾にて又同樓の東京は軟性下疳敷島支店の吹勇は筋炎にて何れも入院し日進樓の次郎朝日樓の折鶴高砂樓の濱松は洗滌を受けたりと

●法務院の公判

同院に於ける明十六日の公判刑事の部は不法監禁被告人小山三次郎、賭博被告人木下金三郎、賭博被告人櫻井薰、傷害被告人中原幸次郎、竊盜被告人岩崎健作、强盜殺人等中家節三郎

●麗華園の發展

安いのと量の多いので有名の太平町の支那料理店麗華園は今度南山町二丁目松葉亭の向ひに支店を出し得意の西洋及支那料理を日本人の嗜好に適する樣調理してれ好みに應ずる由

●取消

去る十三日本紙第三面欄院長殿の大熱々と題する記事は事實無根にして何人かが故意の投書に付き該記事を抹消す



◀平民文庫▶

▲能く小說家やなぞが片頰に笑を含みなぞと書く塲合は多く嬉しき樂しき快き心根を容姿に顯はす時に使ふ樣だが僕は片頰の笑は絕對に厭はしい何う考へて見ても十のものなら三分若しくは五分の冷笑的意味のあるものとしか受取れぬから（への字）▲當地の署長殿は前々任地では榮轉願ひをして人民辛く安堵の思ひをなせりと聞く當地でも早速其筋へ榮轉願ひをしたさうだが未だ御採用がないので日韓兩民共困つて居る（統營の宗太郎）▲龍山はマラリヤ熱が流行する漢江の流れを控へて居ながら市街の排水が行き屆かぬ爲めではあるまいか常に黨同異伐にのみ無けなしの頭を惱まさす民會議員先生達が斯くの如き實際問題に就て多少とも研究して欲しい飯を食ふのが目的の新聞社なぞには敢て多くを望むのは恐だ現在だけの事さへ勢一杯だもの（龍山非公民）▲此の頃將棋の盛んなのは明治町一帶であらう夜になると店頭に涼み臺を置いて五ッ組も六組も勝負を爭ふて居る卑猥極まる話題で喋々して居るのよりはヅット遙かに頗る大に甚だ上等だ、が拙手なのが玉に疵だ（痴獵筋）▲京城新町は不景氣〳〵と各新聞に書き有りますが何樓か不景氣なのですか僕は每日十一時頃滿月樓に登樓しますが大抵十一時半頃には滿員札止めの好人氣ですが不景氣の各樓名承りたし（滿月樓客）▲君の樣な暢氣な人に出會つては閉口する一昨々夜の屆出は滿月で客八名費消金額三十二圓十九錢とある一名宛四圓二錢三厘七毛五糸だ此れで彼の家嘉骨が支へられるか不景氣でないと云へるか他の樓名を計上するに及ばん何うです四圓二錢三厘七毛五糸君（係）▲本町四丁目杉本吳服店は每月十日に仕拂日を定め置きながら其日になれば會計が居ないとか掛りが居ぬから午後來れ、明日來れ、と十數回も足を運ばせ置きて終には品物が惡かつたの賴まなかつたのと口實で仕拂をせず惡辣な手段を使ひ居るが取引先き皆大迷惑して居る不都合極まる商店なり（一被害者）▲支那町水月の〇〇さん十四日の朝店の掃除をして居たのは感心だがれ臀の邊に赤いものが西洋西瓜を半分に割つて付けた樣に着いて居たが開國紀念祭を祝する爲めに國旗を揭揚したのとすれば尻の邊では國旗を侮辱したものだ此の非國民奴（通行人）

●天氣豫報（自十五日午後六時至十六日午後六時）

東の風曇少雨

十四日（華氏）　最高溫度　七、六五　最低溫度　七、四八

第六期營業報告

資本金五拾萬圓　積立金七萬壹千圓

貸借對照表

負債之部

科目	金額
諸預金	六二二、五一〇、三九
仕拂送金爲替手形	一四〇、〇〇
他店より借金	一七、四四五、三八
資本金	一五〇、〇〇〇、〇〇
政府貸下金	二〇九、九〇九、〇〇
諸積立金	四九、五六三、五一
配當未濟金	四九七、一六
本期純益金	三〇、一四九、六二
前期繰越金	七、一〇五、七三
合計	一、〇八七、三二〇、七九

資產之部

科目	金額
諸貸付金	三五七、一六五、二九
割引手形	四〇三、一八七、五五
有價證券	一二、九一六、二〇
他店へ貸	三、七〇五、四六
預ヶ金	一五五、二九四、六〇
拂込未濟資本金	九八、五〇〇、〇〇
營業用地所建物	二二、六四六、四四
營業用什器	二、一六九、八八
假拂金	一、七三七、三三
金銀現在高	二九、九九七、九九
合計	一、〇八七、三二〇、七九

損益

一金五萬〇四百卅一圓卅四錢　本期總益金

一金七千百〇五圓七十三錢　前季繰越金

合計金五萬七千五百三十七圓〇七錢

內

一金二萬〇二百八十二圓七十二錢　本期總損金

差引

金三萬七千二百五十五圓三十五錢　本期純益金

此配當計算左の如し

金五千圓　法定積立金

金一千圓　配當積立金

金一万四千圓　別途積立金

金一千圓　重役賞與金

金二千五百七十五圓　配當金（年一割）

金一万三千六百八十圓三十五錢　後期繰越金

右之通り相違無之候也

隆熙三年七月

株式會社　大韓天一銀行

支配人　遠山熙

銀行長　李鳳來

取締役　尹晶錫

同　洪忠鉉

同　金時鉉

監査役　金基宅

發行兼編輯人 高木久太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城新報社
京城西署四小門通
電話六六三番